

はっところどもえん えんだより 2020ねん 6がつごろ



(5歳児)

社会福祉法人 種の会

幼保連携型 認定こども園 はっところども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL : 078-805-3810

FAX : 078-805-3820

携帯 : 080-3033-1952

Mail : hat@tanenokai.jp URL : <https://tanenokai.ed.jp/hatto/>

種の会 法人本部Mail : tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp



★ 健診のおしらせ

6月10日（水）内科健診（全園児） 13：00～

6月24日（水）歯科健診（全園児） 10：00～

★ 尿検査を行ないます。

回収日は下記の通りとなっております。回収日を過ぎますと、回収・検査をしてもらえませんが、お忘れのないようご提出ください。

（6月15日に配布いたします。ご確認ください。）

尿検査・・・6月22日（月）9：30までに回収

予備日・・・6月23日（火）9：30までに回収

★ ビブスについて

園庭で黄色のビブスを着ている職員はウォッチマンです。仕事内容は子ども達全体の様子を把握し、安全管理に努めています。仕事に集中するためにも黄色のビブスを着ている職員への声かけはご遠慮ください。必要の際には、他職員へ声かけをお願いします。

★ 虫除けアロマについて

蚊の多い時期になってきました。毎年虫除けのアロマスプレーを使用しています。

- ・小さな子どもに安心な虫除けです。
- ・肌に直接つけるのではなく、衣服にスプレーします。
- ・精製水・無水エタノール・レモンユーカリで作ったアロマです。
- ・園庭では、蚊取り線香も数カ所使用しています。



新たなスタイルのスタート！

かたやま
園長 片山

4月7日～5月22日まで約1か月半続いた緊急事態宣言が解除され、新たな生活スタイルを通常保育として、園生活が始まろうとしています。

それに先立ちまして、特別保育期間中であった5月25日からクラスを指定させて頂いた中での分散型登園を実施させて頂きました。過去には実施したことのない取り組みでしたが、ご理解・ご協力ありがとうございました。

家族と離れることで、緊張した面持ちの子、イキイキと笑いながら登園してきた子、警戒心たっぷりの子、すぐに友達と遊び出す子、いろんな表情が溢れていました。また保護者の方々からもこの時期に登園できることへの喜びの声を頂戴し、子ども同士、大人と子ども、大人同士の会話が至るところで発生し、久々の登園に感極まった方もおられ、園に活気が戻りつつあることを実感しました。

一方、神戸市からも6月14日までは自粛保育の要請もありますように、感染リスクがないわけではないため、登園がご心配なご家庭や家庭保育を継続した方がよいとお考えのご家庭の意思も尊重すべきだと考えております。

どの子ども同じ乳幼児期の子どもでもあるのに、1号認定は幼稚園の子、2号3号認定は保育園の子、と区分し、1号の子どもは家庭保育、2号・3号の子どもは登園可能とするような園もあるようです。私達は、そういった区分を超えて、園の意向をお伝えする中で、子どもの意志を尊重し、保護者の御意向、各ご家庭の事情を踏まえていく上で保育を営んで参りたいと考えております。

6月は新たな園生活様式を実践しながら、その様式が本当に子どものためになっているのかを模索する期間になると見通しています。そのため、保育方針は変わらないのですが、保育方法・手段は変化することがあるかと思います。今後、従来の形式とは違った決定事項をお伝えすることが増えると思います。一見、ブレた判断をしているように思えるかもしれません。何かお気づきの点がございましたら声掛け下さい。

新型コロナ小児感染症の特徴として次のようなことが現時点で分かってきました。

- ・子どもが感染することは少なく、ほとんどが同居する家族からの感染である
- ・子どもの重症例は極めて少ない
- ・学校、保育園、こども園、幼稚園におけるクラスター（集団）発生はほとんどない

園生活において、密閉は比較的回避しやすいですが、密接・密集は回避できません。むしろ、密接や密集だからこそ、子どもたちが学び取っていることがたくさんあると改めて考えさせられます。お集まり、お当番活動、クッキング、サークルタイム、誕生会などなど、スキンシップが図られながら実践されてきた大切な教育的要素がたっぷりの保育を変更あるいは中止していいのか。子どもと大人、子ども同士の関係性が豊かになるためにも、3密を回避しすぎる様式は取れない！と割り切ったりスタートがどこかのタイミングで必要なのではないか、そんなふうにも受け止めています



はっとこども園 はじまるよ～！

主幹保育教諭 はしもと 橋本

長い自粛期間を経て分散型保育が始まり、子ども達の声が響いている！笑顔がいっぱい！久しぶりに活気が戻ってきました。今までこれが当たり前のように毎日を過ごしてきましたが、久しぶりの子ども達の再会に先生達もみんな笑顔。この3ヶ月、自粛で我慢をたくさんしました。しかし、新たに挑戦したことや貴重な体験もたくさんあったと思います。先生達も子供達のためにいったいどれだけのことができるのだろうか、もっとできることはないのかと、毎日いろいろと考え、動画を配信したり、再開後のために保育の準備をしたり、各ご家庭と電話で連絡を取り合ったりしてきました。今後もONE TEAMになって子ども達、保護者の皆さんと向き合っていきたいと考えています。一日も早く終息の時が来ることを願って、職員一同全力で子ども達がすくすくと成長できるように取り組んでいきます。引き続きご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

☆はっとこども園の子ども達のグループはステキな4つの名前があります。

こんな風に心を動かす経験をして、たくさんの力(心と体)を育てていきたいと考えます。

にこにこと笑顔を交わし、自分も友だちも大切にする、心豊かな思いやりのある子ども

友達とさまざまな体験を重ねる中で、相手の立場に立って行動したり気持ちを考えたり、話に耳を傾け自分の思いを言葉で伝えることができるようになる。友達のよさ、大切さに気づき、共に過ごす喜びを味わう。

きらきらと目を輝かせ、自ら考えたり、試したりする好奇心旺盛な子ども

身近な環境に主体的に関わり、気付いたり、考えたり、予測したり、工夫したりしながら、取り組むことで達成感や満足感を味わい、自信を持って行動するようになる。また、自然に触れる体験を通して、命の大切さにも気づき、いたわりややさしさの気持ちをもつ。

☆はっとこどもえんの子ども達☆

わくわくと心が躍動し、色々なことに挑戦し、未来に向かって自ら健康で安全な生活をつくり出す健やかな子ども

自己を十分に発揮し、遊びや生活を楽しむ中で、心と体を十分に働かせ、色々なことを試したり、意欲を持って取り組んだりするチャレンジ精神を養う。また、自ら進んで、健康な体作りや安全に関心をもって行動することができる。

るんるんと心弾ませ、色々な表現を楽しんだり、イメージを膨らませたり広げたりできる子ども

日々の生活の中で、感動する(五感が働く)体験を通して、思わず声に出したり、体が動いたり心の中で感じたことをありのままに思い切り表現できる。イメージを膨らませ、想像力・創造力を養い、豊かな感性と表現力をもつ。



〇さい 1さい
おひさまぐみ

ふくやま たけなか
福山 竹中
ふじむら やまもと
藤村 山本



- 【ねらい】 園の生活に慣れて安心して過ごす
- 【領域活動】 〇歳児：室内やミニ園庭の探索活動・水遊び
1歳児：室内や園庭での探索活動・水どろんこあそび
- 【わらべうた】 ♪2階へ ♪にぎりぱっちり ♪ちょっちょっ
- 【うた】 ♪かたつむり ♪あめふり
- 【食育】 キャベツ（給食のキャベツの葉を剥く・ちぎる）



「かさ さしてあげるね」

この本は、男の子がいろいろな動物に傘をさしてあげる物語です。動物によってしずくの跳ねる音が違って、動物の特徴を生かした音になっています。傘の大きさも動物に合わせて違っているので、そこにもぜひ注目してみてください。楽しめる要素がたくさんある絵本になっています。



おあつまい



おひさま組では毎朝お集まりを行なっています。お友達の顔が見合えるように座り、お互いの顔が見えることで、笑顔になったり安心したりできるようにしています。お集まりの中では、手遊びやわらべ歌をしたり歌を歌ったり、季節を感じる事が出来るようなものを取り入れています。また『晴れ・雨・曇り』など、子ども達にわかりやすいようにイラストを使い、今日の天気を話し興味をもてるようにしています。名前呼びでは、視覚的に分かるように名前が書いてある写真を見ながら、みんなの名前を呼んでいます。毎日のお集まりをする中で「〇〇ちゃん」や「〇〇くん」などと、お友達の名前を覚えて口にする姿も見られます。お名前を呼ばれると恥ずかしそうにする子や、元気よくジャンプして返事をする子など様々な姿が見られ、子ども達それぞれの個性が見られます。1日を楽しく元気に過ごすためにも、これから朝のお集まりを大切にしていきたいと思ひます。



2さい
なぎさぐみ

おかの おおしま ささい
岡野 大嶋 笹井



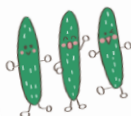
- | | |
|---------|------------------------------|
| 【テーマ】 | ～水に触れよう～ |
| 【活動】 | ～絵の具排出遊び～ ～シール貼り～ |
| 【わらべうた】 | ・とのさまおちゃくざ ・ふくすけさん |
| 【うた】 | ♪かたつむり ♪かえるの合唱 ♪あめふり |
| 【食育】 | 食事のマナーを知ろう！（姿勢やスプーンの使い方について） |



～水に触れよう～

6月は活動を通して水に触れていこうと考えています。戸外遊びでは保育者が水を用意し、最初は触れることからはじめ温度や感触を感じていきます。そこから、泥遊びにも発展していきたいと思います。水を触った時の子ども達の反応や「冷たい」「気持ちいい」などの気持ちを言葉にし、そこから保育者との言葉のやりとりを楽しみたいと思います。

模造紙に絵の具を使って、排出遊びを子ども達と行ないます。絵の具に水を加えるとどうなるのか変化を楽しみます。また、梅雨の時期でもある6月は「雨」に関する歌を歌い、雨の日には外を眺め、「どんな音がするかな？」と耳を澄ませて音を聞いてみたり、雨粒の大きさを観察したりします。いろいろな丸型のシール用意し、外を眺めながら雨に見立ててシール貼りを楽しみたいと思います。様々な角度から水を感じ、遊びが広がるように、関わっていきます。



～きゅうりを育てているよ～



5月初旬になぎさ組では、きゅうりの苗を6本植えました。5月中は保育者が子ども達に見てもらえるように水やりをしていましたが、6月からは子ども達と一緒に水やりを行なっていきます。きゅうりについてのPOPをお集まりで見て、興味を持ってもらえたらと思います。日々成長する様子や変化を感じながら、みんなで大切に育てていきます。

みんなで
そだてようね





- 【テーマ】 「雨」を感じよう
- 【絵画・造形】 絵の具遊び～三原色を使って絵の具の感触や色作りを楽しむ～
タンポを使ったアジサイ製作
- 【うた】 ♪あめふり ♪かたつむり ♪かえるの合唱 ♪あめふりくまのこ
- 【リズム】 リトミック～様々な動物になりきって遊ぼう～
- 【屋外遊び】 園庭遊び、屋上
- 【園外保育】 さんぽ（近隣の公園）
- 【栽培】 夏野菜の水やり・成長観察



今月の活動予定

★「雨」を感じよう

梅雨入りの時期となりました。雨に関する歌を歌ったり、絵本を読んだり、雨の音を聞いてみたりと、「雨」についてたくさん知ろうと思います。雨を好む動物（かえる、かたつむり等）や植物（アジサイ）について知り、動物になりきってリトミックを楽しんだり、タンポを使って絵の具でアジサイを表現したりと、活動を広げていきます。

★園庭遊び

晴れた日には、屋外でたくさん遊びたいと思います。園庭で虫探しをしたり、かんたんなルールのある遊びをお友達と楽しんだり、水遊びやどろんこ遊びをしたりと、子ども達の興味に沿って遊びを展開していきます。遊んだ後は、何をして遊んだのか、どんなことが楽しかったのか子ども達一人ひとりに尋ね、対話の時間を大切にしていきます。

★夏野菜の水やり・成長観察

夏野菜（ミニトマト、オクラ、ピーマン）の苗植えの様子を動画に収めたので、動画を見ながら子ども達にお話をしたいと思います。また、グループごとに水やり当番の日を決めて、子ども達と一緒に水やりをしながら、成長観察を楽しみたいです。





4さい
そらくみ

いずみ ふくおか
和泉・福岡



- 【テーマ】 「梅雨」
- 【描画・製作】 オリジナルあじさい
- 【折り紙】 かえる
- 【うた・リズム】 ♪かえるの合唱 ♪かたつむり
♪セタさま カスタネットでリズム打ち
- 【自然】 夏の動植物
- 【ゲーム遊び】 じゃんけん列車・どんじゃん
- 【園外保育】 雨の日散歩・異年齢散歩



～オリジナルあじさい～

今月のテーマは「梅雨」です。「梅雨」が何なのか、雨はどうして大切なのかということも、話をしていきたいと思います。園庭にも咲いている「あじさい」を実際に見に行ってお観察します。今月は様々な素材を使って貼り絵のようにオリジナルのあじさいを作りたいと思います。

また、活動をする中で、はさみやのりの使い方について詳しく伝えていきます。今までは、園のはさみを使っていましたが、そら組になり自分の新しいはさみを使います。はさみ遊びとして、細長い紙を1回で切る1回切り、連続してチョキチョキ切る連続切りや線をなぞって、曲線を切ることに挑戦していきます。うどんやラーメン、野菜などに見立てて子ども達が楽しめるように活動していきます。



～動植物との関わり～

園庭遊びをたくさんしていこうと思います。おなじみのダンゴムシやバッタなどの生き物や、梅雨ならではの生き物や植物を探したり、触れたりしていきたいと思います。また、夏野菜のトマトとピーマンやさつまいもの水やりをすると共に、野菜の成長を観察していきます。園庭だけでなく、近くの公園の生き物や植物も一緒に探したいと思います。身近な動植物に興味をもち、命を大切にする気持ちをもって関わるができるようにしていきます。



5さい
かもめぐみ

さわね
澤根

6月

【テーマ】

梅雨を感じよう！～雨たんけん隊～

【絵画・造形】

雨をイメージした絵画 レインコート製作

染め紙を使った七夕製作

【うた】

♪だから雨ふり ♪雨ふり ♪パレード ♪たなばたさま

【石鯨遊び】

石鯨を削って、泡遊びを楽しもう

【ゲーム遊び】

～音で数えて表現あそび・台風の目・リレー～

【生き物】

カブトムシの霧吹き・金魚の餌やり当番

【園外保育】

近隣の公園で梅雨を感じる

【農育】

夏野菜の水やり・メンテナンス

【食育】

味噌づくりを見よう！

梅雨ってなんだろう？

今月は梅雨に着目します。まず、「梅雨っていったいなんだろう？」と子ども達と一緒に考えます。きっとテレビなどで目にしたり、耳にしたりする機会が増えることでしょう。「お家の人に聞いてみよう！」という取り組みも計画しています。「雨ふり」や「だからあめふり」を歌ったり、歌詞に着目して、梅雨ならではの生き物にも関心を持てるように歌唱指導をしていきます。園庭やお散歩でもビンゴゲームを取り入れて、虫や草花を探するという梅雨ビンゴをします。このようないろいろな活動を通して感じたことや考えたことを、みんなの前で発表し、子どもの意見をウェブにしてイメージを共有します。

絵画は、「雨」をテーマに少人数で行います。画用紙に絵の具でしずくをたらし縦にしたら、「ザー」と雨が降っているかのように見えます。雨粒は子ども達の好きな数をたらし、雨が流れていく風景を体感します。大雨だったり、小雨だったり十人十色な雨を表現してくれるでしょう。完成した作品は、みんなの前で発表タイムをして、かもめ組で梅雨を感じたいと思います。

また、レインコート製作をします。ポリ袋を自分の体に合うようにハサミで切り、その上から油性ペンで絵を描きます。雨の音楽を流して、こんな素敵なレインコートを着てお散歩にいったら楽しいだろうと想像しながら、音を感じながら製作します。雨が降った日には、自分の作ったレインコートを着てお散歩に出かけたいと思います。



台所の先生から



いぬぶち こんどう
岩渕 近藤

【 はっとこども園の給食を早く食べてほしい 】

春の野菜や果物（春キャベツ・新玉ねぎ・えんどう豆・たけのこ・菜の花・アスパラガス・いちご・桜茶）を、春を感じてほしいという思いから、給食の献立メニューに入れたり、食育に取り入れたりして楽しもうと、わくわくしながら計画を立てていました。しかし気が付けば、春も過ぎてしまいました。子ども達と一緒に楽しむことが出来なくなってしまったのは残念に思っています。しかし、気持ちを前向きに切り替えて、梅雨から初夏に向けての食育を濃い物にしていけるよう考える時間が出来たと思っています。2か月間でできなかった食育も衛生管理を万全にしてしっかり楽しもうと計画しています。

給食では、子ども達が成長していくために必要な栄養のバランスを考え、子ども達に喜んで食べてもらえるように工夫して、メニュー作りをしています。今後、よりいっそう家庭で不足しがちな栄養素（カルシウム・鉄分・ビタミン類）が含まれている給食をと心がけていきます。提供方法もこれまで以上に感染予防を徹底していきます。

自粛期間中には、動画やレシピの配信を行ってきました。はっとこども園の給食の味を忘れてほしくないという思いや、家庭でも子ども達と一緒にクッキングに挑戦してもらい、おうち時間を有意義に過ごしてほしいという、私達の気持ちが伝えられたらと配信させていただきました。

これからの園生活において、食に関しての不安や希望などを把握できればと思い、し好調査を含めたアンケートを行って家庭での悩み等に寄り添っていければと思います。「野菜など好き嫌いが多い」「ながら食べをして時間がかかる」「便秘がち」「体重が増えない」「肥満ぎみ」「おやつばかり食べる」「箸の持ち方」などいろいろの角度からアプローチできればと思います。ご協力お願い致します。



フリーのせいせい

かじはら
梶原

天気の良い日はクラスやグループ、また異年齢で近隣の公園へお散歩に行きます。お散歩に行くことにより、子ども達は園内で見られない花を見たり、交通ルールを知ることができたり、地域の人とすれ違ったら挨拶をするといったことを自然と学び、身につけることができます。

今月は、子ども達と行くお散歩コースを一部ですが、写真を添えて一緒にご案内したいと思います。正式名称と、はっここども園で考えた公園の名前をこちらで書いていきます。こちらで紹介する降園以外にも、海岸沿いや裏の公園、HAT 内も子ども達の人気コースになっているので、ご家庭で散歩に行くときなどの参考にしてみてください。

はっここども園のお散歩コース



パンダコアラ公園 （西郷川河口公園）

パンダとコアラの遊具や大きな滑り台などがある公園です。他にも、季節によっていろいろなお花が咲くので、子どもも大人も楽しめる場所になっています。



アメンボ公園 （摩耶海岸通公園）

大きな遊具があり、公園内に池もあります。そこにはアメンボやザリガニなどがいるので、子ども達に人気の公園です。



どんぐり公園 （西求女塚古墳）

秋になると、どんぐりなど自然物がたくさん落ちている公園です。拾った自然物は、園に持って帰り室内に飾ったり、保育で遊びに使ったりしています。



岩屋公園

大きなすべり台が、特に子ども達に人気です。公園の近くでは、電車が通り近くで見ることができるので、それもまた人気の一つになっています。



ほけんだより



看護師 ならき 檜木

大人も子どもも環境に適応できないことで様々な症状が起こってきます。特に初夏から夏にかけて、又、湿度の高いときも熱中症に注意が必要です。子どもは体温が上がりやすく、背の低い分、地熱を受けやすく、夢中で遊んでいて水分の補給が出来ていなかったりするので、大人の声掛けが必要になってきます。重篤な状態になる前に異常を早期に発見し、対処していきましょう。

＜症状＞Ⅰ度（軽症） めまい 立ちくらみ 筋肉痛（こむら返り、足がつる） どんどん汗をかく 手足のしびれ 気分不快  Ⅱ度（中等度） 頭痛、吐き気、嘔吐、だるさ、疲れ ＊体温は正常～40℃未満 ＊意識障害なし。 ＊夏に流行する胃腸炎などの感染症と紛らわしいことがある。 Ⅲ度（重症）→すぐに救急車を呼ぶ（119） 呼びかけに反応が無い けいれん まっすぐ走れない 異常な高体温 異常な発汗、もしくは汗が出なくなる。	＜対処＞ ①涼しい場所に移動し、仰向けに寝かせる ②身体冷却（保冷剤やタオルで脇の下、太ももの付け根など太い血管の部分进行冷す。 ③水分摂取 経口補水液（ORS）がお勧め 乳児：30ml /Kg 幼児：30～50ml /日 学童、成人：300～600ml /日 ＊自家製補水液を作る場合は 1ℓの水に 砂糖2～4杯（20gから40g） 食塩小さじ0.5（3g） ・熱中症の高体温は、解熱剤では下がらないが、頭痛に対して効果はある。 症状が改善せず経口で水分補給できない時は点滴の必要がある為、病院受診する。
---	---

＜予防のポイント＞ ＊日頃から暑さになれさせておく。 ＊胃腸炎や風邪にかかっている時は熱中症にかかりやすいので注意する ＊十分な睡眠（午後の昼寝は効果的） ＊食事をしっかり摂る。 ＊涼しい衣服（淡い色、通気性の良い素材）帽子の着用（つばのある物） ＊こまめな水分と電解質補給
--

ウェルネス体育遊び

ウェルネス なんば

緊急事態宣言延長のため、体育あそびもお休みとさせていただいていましたが、緊急事態宣言も解除され、いよいよ6月から体育遊びをスタートいたします。指導者はマスクを着用して指導にあたります。なお、指導内容については5月の指導内容を実施いたします。

6月の取り組みとねらい

サーキット運動

○3 歳児クラス

○型サーキット

- ・コースを理解して、道具を順番に進むことを覚える。
- ・サーキット運動に興味・関心を持っていろいろな遊具にふれあいながら体を動かす楽しさを味わう。



○4 歳児クラス

U型サーキット

- ・サーキット運動に対する前向きな気持ちや生理的な運動欲求に応えるために、運動量を確保し、心身の安定を図る。
- ・「走る」「跳ぶ」など基本動作に負荷を加え、ひとつひとつの動作を確かなものにする。
- ・複合動作①の経験（～しながら～する。という2つの動作を同時に行う。）

○5 歳児クラス

U型サーキット

- ・動きの確かさ（素早さ、リズム、バランス、連続性など）を図る。
- ・新しい動きを提供し、創造性や愉悦性などの魅力を伝える。
- ・複合動作②の経験（～から～して～する。という3つの動作を同時に行う。）

ポイント指導

・3 歳児クラス

- ・マット「でんぐりがえり」⇒回る感覚を養う。
- ・鉄棒「ぶらさがり足タッチ」⇒ぶらさがりながら、鉄棒に足をタッチする。

・4 歳児クラス

- ・跳び箱「台上から開脚乗り」⇒両足揃えてジャンプを行いながら開脚でのる。
- ・鉄棒「前回り降り」⇒身体を丸くしながら前にまわる。手首を回して回る。

・5 歳児クラス

- ・跳び箱「開脚とび」⇒ふみきりを両足そろえてふみきる。
- ・鉄棒「坂付き逆上がり」⇒腕をひきつけて、けり上がりを行なう。

